

令和 3 年度 施策評価表

施策	0201 幼児教育の充実	施策担当部	こども未来部	部長	山中 さと子
		施策担当課	こども政策課	課長	赤瀬 雅昭
施策の方針	認定こども園の設置や幼保小連携の強化、障がい児等の支援などに取り組み、子どもたちに質の高い幼児教育を行う。				
関連するSDGsのゴール					

【DO（実施）】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	R2年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 認定こども園数	園	7	9 9	9 9	9 9	10 11	11 12	109.1%	109.1%
②									
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

令和2年度は、令和2年度当初に1園開設（保育園からの移行）し、12園となった。
 また、令和2年度において、近隣の公立幼稚園閉園に向けた1号認定子どもの受け皿として、令和3年度当初に開設した認定こども園1園の開設支援を行った。
 認定こども園については一定の整備が進んだことから、今後については、需要の動向や必要性などについて見極めながら判断していく。

施策経費

(単位:千円)		R2年度 決算	R3年度 予算	R4年度 見込	特記事項
内訳	事業費	106,166	110,608	109,533	
	国庫支出金	4,306	5,224	6,007	
	県支出金	4,306	5,224	6,007	
	地方債	0	0	0	
	その他	17,794	13,804	13,248	
	一般財源	79,760	86,356	84,271	
	人件費	26,299	25,064	-	
	フルコスト	132,465	135,672	-	

施策の概要

020101	認定こども園設置の推進	保護者の働き方など家庭の状況に関わらず、すべての子どもたちに幼児教育・保育を一体的に提供するとともに、在宅子育て家庭に対する相談等の支援を行うため、地域の実情等を考慮し、引き続き認定こども園の設置を推進します。
020102	発達や学びの連続性を踏まえた幼保小連携の強化	幼稚園、保育所（園）、認定こども園及び小学校が、子どもの状況やそれぞれの教育目標、指導の内容などについて情報を適切に共有するなど、発達や学びの連続性を踏まえ、相互の連携を強化します。
020103	障がい児等特別な配慮を要する子どもへの支援	障がい児等特別な配慮を要する子どもにきめ細かに対応するため、特別支援教育コーディネーターや補助員の配置、個別の指導計画等の作成など、それぞれの子どもに配慮した支援体制の整備を推進します。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公立園の再編整備については、新たなこども園は整備しないこととし、市立幼稚園は段階的に閉園、放虎原こども園への集約と機能強化を図ることとした。今後、円滑に閉園・移行するとともに計画的な機能強化を図っていく必要がある。 ・要配慮児が年々増加する中、就学以降を念頭に置きながら、小学校等と連携し、各園での支援体制を充実させていく必要がある。 ・私立保育所・私立幼稚園の認定こども園への移行については、一定の整備が進んだことや1号認定子どもの需要は満たしている状況であることから、今後は需要動向を注視しながら慎重に判断する必要がある。
-------------------------	--

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>私立幼稚園の認定こども園への移行については、現在のところ、具体的な案件はないが、私立保育所について認定こども園への移行が進んでいることから、今後のニーズや充足状況を踏まえながら引き続き支援していく。</p> <p>放虎原こども園の機能強化について具体的な計画を策定する。</p>
---	--

令和4年度新規事業

事業名 (仮称)	担当課	R4年度見込	
		事業費 (千円)	対象・事業概要など
1			
2			
3			
4			
5			
		0	